

エマージェンシーハウスって?

EMERGENCY = 緊急時・非常事態のこと

台風・地震・水害・大雪…。いま、自然災害に対する防災意識がとて高まっています。

日ごろから、自分たちでどう行動すれば命を守れるのか、考えておく必要があります。

例えば災害時、避難所に行くのか、自宅避難をするのか…など。

自宅避難をする場合、電気・ガス・水道のライフラインが止まってから約7日間、ほぼ普段通りに生活ができるよう、あなたのお家では準備ができていますか?

エマージェンシーハウスは、最新の防災情報の展示や、防災準備のヒントになる、身近なモノに実際にふれながら、ある日突然訪れる「もしも」の時の備えを自分自身で考えることができる施設です。

大切な人・自分、財産を守るための“行動”の“ヒント”として役立ててください。

もしもの時に慌てないように。
できることを始めよう!



エマージェンシーハウス

東京ガスライフバル横浜北

東京ガス横浜中央エネルギー株式会社

【所在地】横浜市都筑区茅ヶ崎中央16-18 TG都筑ビル2F

【入館料】無料

【見学時間】月～土 9:00～17:00

※見学の際は事前にお電話ください。

※日・祝日のご見学もご相談に応じます。

※団体さまのご見学も歓迎いたします。

【お問合せ】

TEL.045-943-8880 FAX.045-941-2650

【電話受付時間】月～土 9:00～19:00

日・祝 9:00～17:30



EMERGENCY HOUSE

エマージェンシーハウス
東京ガスライフバル横浜北

TOKYO GAS LIFEVAL

- お車でご来場の場合はタイムズキーサウスをご利用ください。ショールームで駐車券をお渡しいたします。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休業や時間を変更して営業する場合がございます。
- 感染予防対策のため、入場を制限する場合がございます。
- ご来場の際には必ずマスクの着用をお願いいたします。

当施設では新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底しています。



チラシ作成日 2021年4月 管理番号20210414-1250-01

災害時、いざという時のための
ヒントがたくさん!



災害時の防災準備や自宅避難を
体感しながら考える施設



EMERGENCY HOUSE

エマージェンシーハウス



キーワードは “7日間”^{※1}

災害発生時、自宅避難した場合、
過去の経験上、ライフラインの復旧までに
7日以上かかるケースがほとんどです。
物流が停止し、食品などが手に入らない
この7日間を乗り切る備えを
普段から考えておくことが大事です!



水道

断水でトイレなどの生活水が不足。
非常時には一人1日15ℓの水を確保しましょう。

**実際に15ℓって
どのくらいの量になるの?**

実際に展示された物を確認してみよう!
家族の人数分×15ℓ^{※2}です。
ペットボトル何本分?



※1 農林水産省「災害時に備えて食品の家庭備蓄を始めよう」1Pより引用
※2 WHO 燃料水質ガイドライン「Domestic water quantity, service level and health」1Pより引用

停電時のために、情報を知るための必須品
スマホの充電はいつも満タんに。

**スマホを満タんに充電するのに
乾電池は何本必要?**

実際に展示された本数を見てみよう!
また非常時に役立つラジオなども展示しています。



電気



災害で ライフラインが 停止!

ガス



ガスが止まったら、カセットコンロが必需品に。

**レトルト食品などの食料の
ストックはどのくらい必要?**

実際に展示された物や、最新の防災食情報に
ついて詳しく見てみよう!



エマージェンシーハウスでは、ご見学された
皆さまが、災害時の対応や被害の想定、家庭
内備蓄や防災訓練の重要性など、防災を身近
な問題ととらえ、自分たちにできることは何か
を意識していただく機会になればと思ってお
ります。

また、『自助』の重要性を再認識するきっか
けにもなればと思います。

ご家族の皆さまで、地域の防災拠点・避難場
所をマップで確認したり、お互いの連絡手段
などを取り決めたり、さらに一歩進んだ防災
準備を話し合ってみてはいかがでしょうか。
今後も当施設では、展示品など更新・追加し、
ご家庭での話し合いなどに活用していただ
けるようさらに工夫してまいります。

